

献呈の辞

生田の丘にそよふく風にも春めいた暖かさを感じる季節となりました。今年度、生田キャンパスでは、東日本大震災の後、更地になっていた場所に新2・3号館が竣工し、正門からの景観は洗練された学園らしい姿に一新されました。人間科学部心理学科では、公認心理師資格に対応するためのカリキュラム改変にむけて激動の1年でした。そしていよいよ4月から、専修大学の心理学教育は全く新しいフェーズに入ります。そのような中、心理学科の藤岡新治特任教授が平成30年3月末日をもって定年を迎えられご退職されます。

藤岡教授は昭和22年（1947年）に兵庫県にお生まれになり、昭和44年（1969年）私立日生学園高等学校を卒業後、同年に専修大学人文学科に入学され、昭和48年（1973年）同学科心理学コースを卒業されました。その後、中京大学大学院文学研究科修士課程臨床心理学専攻に進学されました。同課程を修了後、昭和50年（1975年）から大阪府堺児童相談所心理判定員、昭和52年（1977年）からは日本医科大学心理学教室助手として勤務されました。なお昭和60年には日本医科大学から医学博士の学位を授与されています。

昭和61年（1986年）に専修大学商学部専任講師として着任された後、平成6年（1994年）に商学部教授に昇格されました。平成22年（2010年）には人間科学部新設にともない人間科学部に移籍されました。平成27年（2015年）より同学部特任教授となられ、今年度、任期満了を迎えられました。

藤岡教授は延べ29年の長きに渡る本学在職中、学生相談室長や心理教育相談室長の重職を担われた他、KSパートナーシップ・プログラム運営委員会委員など数多くの役職を歴任され、本学の発展に貢献されました。

藤岡教授の専門領域は、心理療法・カウンセリング（認知療法）、心理査定（特にロールシャッハテスト）、精神障害者の社会復帰および学生相談と多岐にわたり、それらの領域において多数のご業績を残されました。また先生に師事し薫陶を受けた数多くの卒業生・修了生が臨床心理学の教育研究現場や臨床現場で活躍しています。専修大学の臨床心理学教育の成果を広く世にしらしめていただきました。ありがとうございました。

先生に対するつきせぬ感謝の気持ちと惜別の思いをこめて献呈の辞といたします。

平成30年3月

専修大学人間科学部長 山上 精次